

2022 年度上期 協会計画研修の実施状況について

研修部

今回は協会計画研修の2022年度上期の研修実施状況と下期開講の研修トピックスについて紹介します。

今年度の協会計画研修は、東西研修センタ合わせて90コースの開講を計画し、集合研修は42コース、リモート研修は48コースとし、年間の受講予定者は約3,500名を見込んでおります（研修専門分野別内訳は表1の通り）。

1. 上期研修実施状況

昨年度上期は、コロナの影響もあり集合研修の受講状況が低い時期もありましたが、今年度はリモート研修比率をあげたこともあり、コロナ禍ではあるものの9月までに概ね計画通りの61コースを開講し、約1,900名、研修を受講していただいております。

それぞれの分野ごとに振り返ります。

2. 電気通信設備の設計・工事・保守技術

電気通信事業者向けの設計・工事・保守に関し、技術者資格認定や切替主任認定に伴う研修として「光ファイバーケーブル技術科」および「光地下配線科」や「土木設計科」、「IP宅内技術科」、「設備事故防止対策科（所内）」を上期開講し、約260名が受講。また、「交流電源無瞬断工事研修科」は新たな切替マニュアル内容をタイムリーに改定・反映しつつ、再修コースも含め約100名受講し、そのうち今年から条件により再修を可としたり

リモート研修に約60名受講いただきました。なお、東日本研修センタの分散給電実習設備は、協会計画研修以外にも会社計画の研修で多くご利用、ご活用いただいております（写真1・2）。

そのほか、施工や保守の安全・品質を確かなものとするために線路・土木の「品質管理科」や線路設計業務に必須である「社外折衝研修」、「支障移転対応技術科」も開講、約140名受講いただけたとともに、下期に3年ぶりの実施となる「所内保守業務研修科」の開講を予定しております。「所内保守業務研修科」は、スキルレベルや局内装置に応じて初級、中級、上級と3コースを設定（上級は初開講）し、各所内装置の概要から所内保守業務の基本動作、実機を使用しての故障修理技術の習得を目的として実施します。

3. ユーザ系設備の工事・保守技術

ユーザ向けの工事・保守等に関する技術研修は、ビジネスユーザ向けを中心に上期は18コース開講し、約500名が受講。

「ビジネス系ルータ研修科」や「IP宅内技術科」といった東日本研修センタ主管の研修はすべてリモート形式で開講。西日本研修センタ主管のユーザ系研修は、複合機などの実機を使った技術習得に伴い集合研修を基本としつつ、下期より「LAN/WAN技術研修科」や「ビ

表1 2022年度研修専門分野別コース数

所外	ユーザ	土木	所内	電力	無線	安全	資格
13	30	10	4	7	2	6	18



写真1 光地下配線科



写真2 交流電源無瞬断工事研修科

「ジネスフォンリーダーコース」の一部をリモートにて研修を実施する予定であり、その実施方法や内容を振り返りつつ、次年度さらなる拡大を検討して参ります（図1）。

4. 安全

安全に関する研修は各社への移管が進み、上期は5コースを開講。安全は最も重要な事項であり、安全への意識醸成や対策の徹底、重要度は高まるばかりです。

各社での安全指導を担う指導者育成を目的とした「安全専任者研修科」は、当初予定者数よりも多い75名が受講。研修内容のブラッシュアップを図り、リモート研修でありながらグループディスカッションを盛り込み、中身の濃い演習も踏まえた研修を実施しました。

また、「設備事故防止対策インストラクタ科」や「設備事故防止対策科」、さらには「交流電源無瞬断工事研修科」、「危険体感安全研修科」はすべて集合研修とし210名が受講。設備事故防止に向けた実践的な演習や体験を含め、事故防止対策や基本動作の重要性、安全意識の醸成、展開に向けた研修を実施しました（写真3・4）。

5. 新入社員基礎研修

今まで第1四半期に多く開講してきた基礎研修は土木のみの開講となり、その研修内容も講義を中心としたカリキュラムに変更しリモートでの受講スタイルとしました。受講者は80名。リモートではあるものの講師と受

講者との双方向コミュニケーションを図り、緊張感ももちながらの研修でした。

また、各社実施の基礎研修の一部において、東日本研修センターの所内設備や電力設備の施設をご利用いただき、会社独自の特色や工夫を盛り込んだ基礎研修も実施していただいております。

6. 資格法令関連

「総合通信工担者資格取得研修科」や「電気通信工事施工管理技士試験対策科」といった資格法令系研修は12コース、640名受講をいただいております。

資格取得に向け出題傾向を分析しポイントなどを反映した研修としておりますので、知識面、技術面の習得を踏まえ、計画的な資格取得の一助になれば幸いです。

7. 研修運営について

上期に実施した研修並びに下期に開講する研修も含め、受講者や講師からの声を踏まえテキストやカリキュラムの見直しを適宜実施して参ります。

また、リモート研修は3年目に入り、受講者の確実な事前準備の実施や人材開発ラインのご指導により、ある程度定着化が図られ、リモート研修がスムーズに行われるようになりましたが、前述のとおり、下期より新たに実施するリモート研修についても実施方法の定着化や改善を図りながら、研修開講や運営を引き続き実施して参ります。

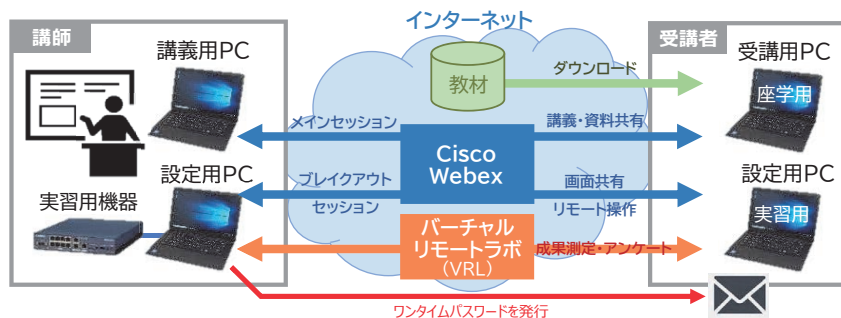


図1 リモート研修実施イメージ



写真3 設備事故防止対策インストラクタ科（線路）



写真4 設備事故防止対策科（電力）